

会 告 目 次

研究発表会開催通知	5
第 76 回グラフィクスと CAD 研究会	5
第 70 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	6
第 105 回計算機アーキテクチャ研究会	6
第 57 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	8
第 2 回プログラミング研究会	9
「ドメイン分析/モデリング」研究グループ終了にあたって	11
計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップー PERMEAN'95 ー	12
第 51 回全国大会 (平成 7 年後期) 概要について	13
第 52 回全国大会 (平成 8 年前期) の開催について	13
情報処理学会「行事」申込書	14
連続セミナー 95 “集中から分散へ” “マスからパーソナルへ” 参加者募集	15
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '95」論文募集	16
「1996 年情報学シンポジウム」論文募集	17
情報処理学会「書籍」申込書	18
「短期高等教育における情報処理教育の実態に関する調査研究報告書」(平成 6 年度版) 頒布のお知らせ ..	19
テクニカルノートに投稿される方へ	20
学会への様々な申込方法	20
正会員新入会の特別キャンペーンの実施について	21
第 30 回人工知能 세미나 「マルチメディア通信時代における AI」	30
支部だより	22
教官募集	26
会議案内	21,29
雑 報	19

IP SJカレンダー

★：共催

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
★ 第104回データベースシステム研究会	八代ロイヤルホテル	7月 18日 (火) ～ 20日 (木)	当日のみ	36-6 7p	研
第2回数理モデル化と問題解決研究会	群馬大	7月 19日 (水)	当日のみ	36-6 9p	研
第13回グループウェア研究会	機械振興会館	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 9p	研
第95回コンピュータビジョン研究会	北大	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 9p	研
第76回設計自動化研究会	群馬大	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 10p	研
第61回ヒューマンインタフェース研究会	学術情報センター	7月 20日 (木)	当日のみ	36-6 10p	研
サマワークショップ・イン・立山	富山厚生年金休暇センター	7月 20日 (木) ～ 21日 (金)	6月30日 (金)		研
★ 第108回自然言語処理研究会	福岡工大	7月 20日 (木) ～ 21日 (金)	当日のみ	36-6 11p	研
第46回アルゴリズム研究会	大阪電通大	7月 20日 (木) ～ 21日 (金)	当日のみ	36-6 12p	研
第7回音声言語情報処理研究会	かのや光楽苑	7月 20日 (木) ～ 22日 (土)	6月23日 (金)	36-6 13p	研
第37回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	7月 21日 (金)	当日のみ	36-6 12p	研
第11回音楽情報科学研究会	ヤマハリゾート 「ホテル合歓」	7月 21日 (金) ～ 22日 (土)	当日のみ	36-6 14p	研
MPEG-4とバーチャルリアリティ オブジェクト符号化シンポジウム	早大 (井深記念 ホール)	7月 25日 (火) ～ 26日 (水)	定員になり次第	36-5 11p	研
夏のプログラミングシンポジウム	NTTゆかり荘	7月 26日 (水) ～ 28日 (金)	5月26日 (金)	36-4 39p	事
第38回情報学基礎研究会	九大	7月 28日 (金)	当日のみ	36-6 14p	研
第55回情報システム研究会	国立民族学博物館	7月 28日 (金)	7月15日 (土)	36-6 15p	研
平成7年電気・情報関連学会連合大会	京大	8月 8日 (火) ～ 9日 (水)	当日可	36-5 16p	事
第76回グラフィクスとCAD研究会	スズキ荘観月園	8月 17日 (木) ～ 18日 (金)	当日のみ	36-7 5p	研
第70回システムソフトウェアとオペレー ティング・システム研究会	別府コンベンショ ンセンター	8月 22日 (火) ～ 23日 (水)	当日のみ	36-7 6p	研
第105回計算機アーキテクチャ研究会	別府コンベンショ ンセンター	8月 23日 (水) ～ 25日 (金)	当日のみ	36-7 6p	研
第57回ハイパフォーマンスコンピュー ティング研究会	別府コンベンショ ンセンター	8月 24日 (木) ～ 25日 (金)	当日のみ	36-7 8p	研
第2回プログラミング研究会	別府コンベンショ ンセンター	8月 24日 (木) ～ 25日 (金)	当日のみ	36-7 9p	研
第51回全国大会	富山大	9月 20日 (水) ～ 22日 (金)	8月11日 (金)	36-7 13p	事
連続セミナー-95 エージェントシステムとその高度化	工学院大	9月 26日 (火)	定員になり次第	36-7 15p	事

連続セミナー95 エンタテインメントのための画像制作技術	工学院大	11月 29日 (水)	定員になり次第	36-7 15p	事
連続セミナー95 ネットワーク・コンピューティング	工学院大	平成 8年 1月 19日 (金)	定員になり次第	36-7 15p	事
第52回全国大会	電気通信大学	3月 6日 (水) ～ 8日 (金)		36-7 13p	事
連続セミナー95 生命科学とコンピュータ	工学院大	3月 22日 (金)	定員になり次第	36-7 15p	事

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
★ Int'l Symposium on Algorithms and Computation'95(ISAAC'95)	ケアンズ (オーストラリア)	1995 年 12月 4日 (月) ～ 6日 (水)	事務局	36-5 8p	国
★ Asia-Pacific Software Engineering Conference'95 (APSEC'95)	オーストラリア	12月 5日 (火) ～ 8日 (金)	事務局	36-5 8p	国
★ 第2回自律分散システム国際会議 (ISADS 95)	フェニックスアリゾナ (米国)	1996 年 4月 25日 (火) ～ 27日 (木)	森 欣司(日立) Tel.(044)966-9111	36-3 20p	国
★ 1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS'96)	ホテルストラダ新宿	6月 3日 (月) ～ 6日 (木)	事務局	36-5 8p	国
★ 人間とコンピュータの関わりあいに関する第6回国際会議 (HCI'95)	パシフィコ横浜	7月 9日 (日) ～ 14日 (金)	森 博彦 Tel.(03)3703-3111 ext.3420		国
★ 計算機性能の測定ならびに解析に関する国際ワークショップ-PERMEAN'95	別府コンベンションセンター	8月 20日 (日) ～ 22日 (火)	Permean 95事務局 permean95@etl.go.jp	36-7 12p	研
★ ASP-DAC '95/CHDL '95/VLSI '95 (ACV'95)	日本コンベンションセンター	8月 29日 (火) 9月 1日 (金)	Secretariat Tel.(03)5814-5823	35-5 27p	国
★ IFIP Congress 96-14th World Computer Congress	キャンベラ (オーストラリア)	9月 2日 (月) ～ 6日 (金)	事務局	36-5 8p	国
★ Int'l Conference on Advances in Production Management Systems (APMS'96)	京都国際会館	11月 4日 (月) ～ 6日 (水)	長谷英明 Tel.(03)753-5901		国
★ 第3回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 (IEEE ICNP-95)	NECスーパータワー	11月 7日 (火) ～ 10日 (金)	滝沢 誠(電機大) taki@takilab.k.de ndai.ac.jp	35-10 38p	国

【論文募集中】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	伊勢志摩国立公園	10月 25日 (水) ～ 27日 (金)	7月28日 (金)	36-5 13p	研
コンピュータシステム・シンポジウム	工学院大	11月 7日 (火) ～ 8日 (水)	7月31日 (月)	36-5 14p	研
Sixth Annual International Symposium on Algorithms and Computation(ISAAC95)	オーストラリア	12月 4日 (月) ～ 6日 (水)	5月12日 (金)	36-2 33p	研
自然言語処理環太平洋シンポジウム'95 (NLPRS '95)	KAIST Taejon, Korea	12月 4日 (月) ～ 6日 (水)	6月6日 (火)	36-3 9p	研
アドバンスド・データベースシステム・シンポジウム	工学院大	12月 5日 (火) ～ 7日 (木)	9月8日 (金)	36-7 16p	研
★ 1996年情報学シンポジウム	日本学術会議講堂	平成 8年 1月 17日 (水) ～ 18日 (木)	9月4日 (月)	36-7 17p	研

論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」			9月22日(金)	36-3 4p	編
第37回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成 8年 1月 9日(火) ～ 11日(木)	9月1日(金)	36-5 15p	事
マルチメディアジャパン 96	パシフィコ横浜	3月 18日(月) ～ 20日(水)	10月16日(月)	36-3 22p	国

【支 部】

行 事 名	会場名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担 当
東海支部一見学会	静岡県マルチメディア情報センター	平成 7年 8月 23日(水)	8月11日(金)	36-7 24p	海
★ 東北支部一平成7年電気関係学会東北支部連合大会	岩手大	8月 24日(木) ～ 25日(金)		36-4 43p	東
★ 東海支部一平成7年度電気関係学会東海支部連合大会	名城大	9月 20日(水) ～ 21日(木)	8月7日(月)	36-7 22p	海
★ 北陸支部一平成7年度電気関係学会北陸支部連合大会	福井大	9月 29日(金) ～ 30日(土)	8月24日(木)	36-6 30p	陸
★ 九州支部一電気関係学会九州支部第48回連合大会	九州芸術工科大	9月 29日(金) ～ 30日(土)	7月31日(月)	36-6 31p	九
★ 北海道支部一平成7年度電気関係学会北海道支部連合大会	北海道工業大学	10月 21日(土) ～ 22日(日)	8月28日(月)	36-7 22p	北
★ 四国支部一平成7年度電気関係学会四国支部連合大会	四国電力	11月 2日(木)	8月21日(月)	36-7 25p	四
★ 関西支部一平成7年電気関係学会関西支部連合大会	京都大	11月 11日(土) ～ 12日(日)	8月5日(土)	36-6 30p	西
★ 中国支部平成7年度電気・情報関連学会中国支部連合大会	福山大	11月 22日(日)	8月18日(金)	36-7 24p	中

- 注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
 注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。
 注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。
 各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

研究発表会開催通知

(平成7年8月1日～平成7年8月31日)

◆第76回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数：13件)

(主査：大野義夫，幹事：斎藤 剛，福井一夫，間瀬健二)

第9回集中研究集会

〔ノンフォトリアスティックレンダリング：CGの新たな可能性を求めて〕

CG技術の急速な進歩により、対象によっては写真と見分けがつかないような画像が生成できる時代となりました。しかし、感性、美などの領域や可視化などの応用を考えると、CG画像は単に写真に近付けばよいというわけではありません。むしろ「フォトリアスティック」な画像が生成できるようになった今、実物にとらわれずにCGの役割を考える時期が来たように思われます。

そこで今回の集中研究集会は、ノンフォトリアスティックレンダリングというテーマのもとに、CG技術の新たな可能性について語り合える場にしたいと思います。

日 時 平成7年8月17日(木) 13:15～17:00

18日(金) 9:30～16:00

会 場 スズキ荘 観月園

〔静岡県浜名郡舞阪町舞阪。JR(東海道線)：弁天島下車，徒歩20分またはタクシー2分。Tel.(053)596-0808〕

議 題

8月17日(木)

(1) 開会の挨拶

大野義夫(慶大)

●総説

(2) フォトリアルでないCG画像表現の手法について

大野義夫(慶大)

(3) まんがにおける具象物の半記号化された表示—非写真的写実レンダリングを論じるために

石原 亘(京都造形芸術大)

●アニメーション

(4) 二次元キャラクタアニメーションの疑似三次元化

奈良原伸哉，乃万 司(九工大)

(5) 次世代アニメーションシステムに関する研究—ノンフォトリアスティックアニメーションの生成—

金子 満，中嶋正之(東工大)

●基礎技術

(6) 射影空間の図形の表示技術

新関雅俊(大阪電通大)

(7) リアルタイム集合演算表示に関する研究

床井浩平(和歌山大)

8月18日(金)

〔9:30～12:00〕

●絵画表現

(8) 樹木の水墨画調レンダリング

張 青，高橋淳也，村岡一信，千葉則茂(岩手大)

(9) An integration of font and CG techniques

Qinglian Guo(ソニーシステムデザイン)

(10) 多視点CGの生成と多視点画像の解析

品川嘉久(東大)

(11) SIGGRAPH'94におけるノンフォトリアスティックレンダリングの研究の動向

石原 亘(京都造形芸術大)

〔13:30～16:00〕

●特徴と理解

(12) 形状理解を容易にする特徴強調画像の生成

望月義典，近藤邦雄，佐藤 尚，島田静雄(埼玉大)

(13) モノクロレンダリングのためのテクスチャ描画手法

関谷英明，近藤邦雄，佐藤 尚，島田静雄(埼玉大)

(14) Comprehensible Rendering—これからの課題

斎藤隆文(NTT)

●総合討論

*本集中研究集会は参加者全員が発表することを原則としておりますが，参加ご希望の方は下記までお問合わせください。

照会先：乃万 司(九工大) Tel.(0948)29-7627 Fax.(0948)29-7601 e-mail:noma@ai.kyutech.ac.jp

◆第70回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (発表件数：15件)
(主査：徳田英幸，幹事：梅村恭司，清木 康，福田 晃)

1995年並列/分散/協調処理に関する『別府』サマー・ワークショップ (SWoPP 別府 '95)

—研究会連続・同時開催—

日 時 平成7年8月22日(火) 13:00～17:15
23日(水) 8:45～12:30

会 場 別府コンベンションセンター「B-Con Plaza」

[別府市山の手町12-1. JR(日豊本線)：別府下車，徒歩15分(路線バス(駅裏手から多発)で5～10分).

Tel.(0977)26-7111(期間中のみ使用可)]

議 題 テーマ：並列/分散/協調システムソフトウェア

8月22日(火)

[13:00～15:00] ●OS-1：ファイルシステム (A会場)

- (1) 世界規模分散ファイルシステム Skinny 亀嶋徳哉，角川裕次，山下雅史(広島大)
- (2) クラスタシステム向け共有ファイルシステムの実現と評価 住元真司(富士通研)
- (3) 投機的処理を支援するオペレーティング・システムにおけるファイル・システム

當真 聡，根路銘崇，新城 靖，翁長健治，喜屋武盛基(琉球大)

- (4) 世界のDAGを利用した投機的makeの実現 根路銘崇，當真 聡，新城 靖，翁長健治，喜屋武盛基(琉球大)

[15:15～17:15] ●OS-2：OS構成法 (A会場)

- (5) トランザクションを考慮に入れたマイクロカーネルOSの枠組 國澤亮太，猪原茂和，益田隆司(東大)
- (6) OS機能のクラス化・モジュール化—機能の動的構築が可能なOSの構成を目指して—

柏木一彦，最所圭三，福田 晃(奈良先端大)

- (7) オブジェクト指向のオペレーティングシステムの構成について

白川洋充，佐藤 陸，淡誠一郎(近畿大)，明石 創(日本サン・マイクロシステムズ)

- (8) マイクロカーネルLavenderにおける階層化インタフェース

毛利公一，山田博士，斎藤彰一，中村素典，大久保英嗣(立命館大)

8月23日(水)

[8:45～10:15] ●OS-3：マイクロカーネルとメモリ管理 (A会場)

- (9) AP1000+におけるMicrokernel OSでのIPCの実装と評価

今村信貴(富士通)，藤崎直哉(富士通研)，石畑宏明，池坂守夫(富士通)

- (10) カーネル内のユーザ定義イベントハンドラを用いた外部ページャ機構 中村隆幸，猪原茂和，益田隆司(東大)

- (11) RTSのメモリ使用の分散的分析手法と実施例

杉村 康(NTT)

[10:30～12:30] ●OS-4：協調スケジューリング (A会場)

- (12) ユーザ・カーネル間の協調スケジューリング

相場雄一，青木久幸，中崎良成(NEC)

- (13) NUMA マルチプロセッサにおけるメモリ管理を考慮した2レベルスケジューリング

大石幸雄，最所圭三，福田 晃(奈良先端大)

- (14) 異なるスケジューラの共存制御法

村上大介，谷口秀夫，牛島和夫(九大)

- (15) 細粒度並列処理のためのハイブリッドスケジューリングシステム

松田孝史(九工大)

* SWoPP 別府 '95の一環として電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会：22日，コンピュータシステム研究会：22～23日，フォールトトレラントシステム研究会：23日)が同会場にて開催されます。

◆第105回 計算機アーキテクチャ研究会 (発表件数：31件)

(主査：島田俊夫，幹事：木村康則，関口智嗣，中島 浩)

1995年並列/分散/協調処理に関する『別府』サマー・ワークショップ (SWoPP 別府 '95)

—研究会連続・同時開催—

日 時 平成7年8月23日(水) 13:30～17:45
24日(木) 8:45～17:45
25日(金) 8:45～13:00

会 場 別府コンベンションセンター「B-Con Plaza」(所在地は前記参照)

議 題 テーマ：並列/分散アーキテクチャと実践の評価

8月23日(水)

[13:30～15:30] ●ARC-1：将来のアーキテクチャ (A会場)

- (1) 次々世代汎用マイクロプロセッサ・アーキテクチャ PPRAM の概要 宮嶋浩志, 岩下茂信, 村上和彰 (九大)
 (2) VLIW ハードウェアスタックプロセッサ 中村浄重, 日雄一朗, 酒居敬一, 阿江 忠 (広島大)
 (3) 擬似 Kohonen network の LVQ 学習 福本 光, 豊崎 剛, 阿江 忠 (広島大)
 (4) スケーラブル並列計算機プロトタイプ: お茶の水 5号 対木 潤, 田中清史, 松本 尚, 平木 敬 (東大)

[15 : 45 ~ 17 : 45] ● ARC-2 : 細粒度並列処理 (A 会場)

- (5) Unlimited Speculative Execution の制御オーバーヘッド削減手法
 山名早人, 佐藤三久, 児玉祐悦, 坂根広史 (電総研), 坂井修一 (RWCP), 山口喜教 (電総研)
 (6) 拡張 VLIW プロセッサ GIFT の命令供給機構とその評価
 古関 聰 (早大), 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)
 (7) 投機的実行を支援するアーキテクチャのハードウェア構成
 原 哲也, 安藤秀樹, 中西知嘉子, 中屋雅夫 (三菱電機)
 (8) 命令再構成型 VLIW プロセッサ V++ における 2 つの再構成機能の評価

金岡弘記, 高木浩光 (名工大), 有田隆也 (名大), 川口喜三男 (名工大)

8月24日(木)

[8 : 45 ~ 10 : 15] ● ARC-3 : ネットワーク (A 会場)

- (9) 並列処理ネットワークのための性能評価用シミュレータ生成系 INSPIRE
 原田智紀, 曾根 猛, 朴 泰祐, 中村 宏, 中澤喜三郎 (筑波大)
 (10) SCI を構成要素として用いた基本的相互結合網の評価 高橋正人, 青山和弘, 宮田裕行, 菅 隆志 (三菱電機)
 (11) RWC-1 の階層型 MDCE 網 横田隆史, 松岡浩司, 岡本一見, 廣野英雄, 坂井修一 (RWCP)

[10 : 30 ~ 12 : 30] ● ARC-4 : 専用マシンアーキテクチャ (A 会場)

- (12) 再帰トラス結合アーキテクチャに基づく並列画像理解用計算機 RTA/1 の設計・試作と性能評価
 青山正人, 山下敦也, 浅津英樹, 山本秀彦, 小川敬介 (岡山大), 浅田尚紀 (広島市立大), 松山隆司 (京大)
 (13) ピクセル並列処理によるボリューム・レンダリング向きの超高速専用計算機アーキテクチャ
 金 喜都 (京大), 明石英也, 對馬雄次 (日立) 中山明則, 荻野友隆, 森真一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)
 (14) 1 チップ高並列 3DCG レンダリングプロセッサ「AGP」のアーキテクチャ

吉沢英樹, 大塚竜志, 佐々木繁 (富士通研)

- (15) 再構成可能な光インターコネクションを用いた汎用並列処理システム 山本裕紹, 成瀬 誠, 石川正俊 (東大)

[13 : 30 ~ 15 : 30] ● ARC-5 : I/O システム (A 会場)

- (16) RWC-1 の入出力リングバス 廣野英雄, 松岡浩司, 岡本一見, 横田隆史, 坂井修一 (RWCP)
 (17) 超並列計算機 JUMP-1 におけるディスク入出力サブシステムのシミュレーションによる評価
 大谷 智, 中條拓伯, 金田悠紀夫 (神戸大)

- (18) 超並列計算機 JUMP-1 におけるディスク入出力サブシステムの実装

中野智行, 中條拓伯 (神戸大), 岡田 勉 (古野電気), 松本 尚 (東大)

小畑正貴 (岡山理科大), 松田秀雄 (阪大), 平木 敬 (東大), 金田悠紀夫 (神戸大)

- (19) 並列データベースシステムにおける多重結合演算処理の最適化とその評価

中野美由紀, 新谷隆彦, 喜連川優 (東大)

[15 : 45 ~ 17 : 45] ● ARC-6 : メモリアーキテクチャ (A 会場)

- (20) Weak Consistency を利用した遅延キャッシュ・コヒーレンシ・プロトコル
 中村秀一, 下山朋彦, 福井俊之, 濱口一正, 長健二朗, 柴山茂樹 (キヤノン)

- (21) ロード先行実行機構によるデータプリフェッチ

中津光昭 (電通大), 堀口 進 (北陸先端大), 岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)

- (22) ユーザプログラム制御階層メモリシステム 牧 晋広, 曾和将容, 岡本秀輔 (電通大)

- (23) 汎用プロセッサのためのベクトルロード支援機構 大津金光, 松本 尚, 平木 敬 (東大)

3月25日(金)

[8 : 45 ~ 10 : 45] ● ARC-7 : マルチスレッドアーキテクチャ (A 会場)

- (24) RWC-1 のシステム構成と基本動作

坂井修一, 松岡浩司, 岡本一見, 横田隆史, 廣野英雄 (RWCP), 児玉祐悦, 佐藤三久 (電総研)

- (25) RWC-1 における多レベル並列処理 松岡浩司, 岡本一見, 廣野英雄, 横田隆史, 坂井修一 (RWCP)

- (26) RWC-1 のマルチスレッド処理機構 岡本一見, 松岡浩司, 横田隆史, 廣野英雄, 坂井修一 (RWCP)

- (27) 細粒度通信機構をもつ並列計算機 EM-X による疎行列問題の並列処理

佐藤三久, 児玉祐悦, 坂根広史, 山名早人 (電総研), 坂井修一 (RWCP), 山口喜教 (電総研)

[11:00 ~ 13:00] ● ARC-8 :アーキテクチャと評価 (A 会場)

(28)並列計算機の要素プロセッサ向きメッセージ駆動スレッドアーキテクチャ

柴田幸茂, 平田博章, 新實治男, 柴山 潔 (京都工繊大)

(29)機能的メモリ主導型データ駆動アーキテクチャ Q-FM とその評価

岩田 誠, 寺田浩詔 (阪大)

(30)スーパースカラ方式とベクトル処理方式の比較—主記憶アクセス特性に着目して—

保田淑子, 田中輝雄, 稲上泰弘 (日立)

(31)耐故障性マルチプロセッサのための SOFTchip の設計と評価

高西裕治, 玉木淳一, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)

◆第 57 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数: 24 件)

(主査:野寺 隆, 幹事:佐藤三久, 寒川 光, 長嶋雲兵)

1995 年並列/分散/協調処理に関する【別府】サマー・ワークショップ (SWoPP 別府 '95)

—研究会連続・同時開催—

日 時 平成 7 年 8 月 24 日 (木) 8 : 45 ~ 17 : 45

25 日 (金) 8 : 45 ~ 13 : 00

会 場 別府コンベンションセンター「B-Con Plaza」(所在地は前記参照)

議 題 テーマ:並列分散コンピューティングのテクノロジー&サイエンス

8 月 24 日 (木)

[8:45 ~ 10:15] ● HPC-1 :ワークステーションクラスタ技術 (C 会場)

(1) STAFF-Link を用いたワークステーションクラスタ上への PVM の実装とその評価

高橋 淳, 中條拓伯 (神戸大), 小畑正貴 (岡山理科大), 金田悠紀夫 (神戸大)

(2) 大規模ワークステーションクラスタの性能評価について

日向寺祥子, 緒方道郎, 星野辰夫, 高橋隆男, 井上 靖 (東海大)

(3) MPI の Software Overhead の除去による高速化技法

小川宏高, 松岡 聡 (東大)

[10:30 ~ 12:30] ● HPC-2 :並列プログラミング言語と HPC (C 会場)

(4) 並列オブジェクト指向言語 ABCL/f による並列数値計算—有限要素法および多体問題による評価—

田浦健次朗, 米澤明憲 (東大)

(5) 並列オブジェクト指向言語 ABCL/f による RNA の 2 次構造予測

中谷明弘, 米澤明憲 (東大)

(6) 分散環境における共有メモリ型 SPMD プログラミングモデル Split-C/PVM の実装

南里豪志 (九大), 佐藤周行, 島崎真昭 (九大)

(7) 階層的コレクションに基づくオブジェクト指向分散ライブラリについて

大森直人, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)

[13:30 ~ 15:30] ● HPC-3 :並列システムの性能評価 (C 会場)

(8) CP-PACS パイロットモデルにおける NAS 並列ベンチマークの評価

服部正樹, 板倉憲一, 朴 泰祐, 中村 宏, 中澤喜三郎 (筑波大)

(9) クラスタ型ベクトル並列スーパーコンピュータ S-3000 クラスタシステムのアーキテクチャと特性評価

田中輝雄, 深川正一, 井村淳一, 後 保範, 玉置由子, 榊原忠幸, 稲上泰弘 (日立)

(10)分散メモリ型並列計算機における LU 分解

建部修見 (東大)

(11)スケラビリティに基づく高並列計算機のパフォーマンス予測

古市実裕, 永松礼夫, 出口光一郎 (東大)

[15:45 ~ 17:45] ● HPC-4 :並列アプリケーションとアルゴリズム (C 会場)

(12)固有パスの複素分岐現象の解析

鈴木智博 (山梨大), 樋口 健 (NTT), 伊藤一帆, 鈴木嘉彦 (山梨大)

(13)閾値関数の BDD の並列実装

丹羽純平, 今井 浩 (東大)

(14)階層化サブストラクチャ法の適用による有限要素法の並列化とその実装

福盛秀雄, 河野洋一, 西松 研, 村岡洋一 (早大)

(15)非対称固有値解法における新しい多項式前処理法の提案

西田 晃, 小柳義夫 (東大)

8 月 25 日 (金)

[8:45 ~ 11:00] ● HPC-5 :HPF コンパイラ (C 会場)

(16)分散メモリにおける HPF 配列要素の有効性解析

李 曉傑, 原田賢一 (慶大)

(17)Profiling System for an HPF Compiler

Shaun Kaneshiro, Tatsuya Shindo (富士通)

(18)HPF コンパイラにおける並列化手法

石崎一明, 小松秀昭 (日本 IBM)

(19)HPF における実行時の通信解析オーバーヘッドの削減手法

小笠原武史, 石崎一明, 小松秀昭 (日本 IBM)

(20)HPF コンパイラの実装と評価

郷田 修, 大澤 暁, 小松秀昭, 菅沼俊夫, 小笠原武史, 石崎一明, 中谷登志男 (日本 IBM)

[11 : 00 ~ 13 : 00] ● HPC-6 : コンパイラ・スケジューリング (C 会場)

(21) 命令レベル並列プロセッサに対するコンディションベクタを用いた広域コードスケジューリング手法の評価

井上昭彦, 赤星博輝, 富山宏之 (九大), 若林一敏 (NEC), 安浦寛人 (九大)

(22) パス選択によるソフトウェア・パイプラインニング

中西知嘉子, 安藤秀樹, 原 哲也, 中屋雅夫 (三菱電機)

(23) コードスケジューリングとレジスタ割付けの協調による最適化

百瀬浩之, 古関 聡 (早大), 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)

(24) CDPP アルゴリズム - DPG 上での統合的データ/プログラム分割アルゴリズム -

中西恒夫 (奈良先端大)

Constantine D. Polychronopoulos (CSR, Univ. of IL), 福田 晃, 荒木啓二郎 (奈良先端大)

◆第 2 回 プログラミング研究会

(発表件数 : 23 件)

(主査 : 萩谷昌己, 幹事 : 小川貴英, 柴山悦哉, 多田好克)

1995 年並列/分散/協調処理に関する「別府」サマー・ワークショップ (SWoPP 別府 '95)

— 研究会連続・同時開催 —

日 時 平成 7 年 8 月 24 日 (木) 8 : 45 ~ 17 : 45

25 日 (金) 8 : 45 ~ 13 : 00

会 場 別府コンベンションセンター「B-Con Plaza」(所在地は前記参照)

議 題 テーマ : 並列/分散/協調プログラミング

8 月 24 日 (木)

[8 : 45 ~ 10 : 15] ● PRO-1 : 並列言語ランタイム (B 会場)

(1) プロセス移送を指定可能とする並列プログラムの実行系

岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)

(2) グローバルガーベージコレクションの評価のためのグラフの自動生成

前田宗則, 小中裕喜, 石川 裕, 友清孝志, 堀 敦史, Jorg Nolte (RWC)

(3) 並列オブジェクト指向言語 mosaic の塵集め方式

村山敏清, 屋鋪正史, 松山浩之, 瀧 和男 (神戸大)

[10 : 30 ~ 12 : 30] ● PRO-2 : 並列化コンパイラ (B 会場)

(4) 複合グラフを用いた階層タスクグラフの視覚化

笹倉万里子, 木和田智子, 城 和貴, 荒木啓二郎 (奈良先端大)

(5) OMT 法による並列化コンパイラ中間言語フレームワークの構築

大森洋一, 城 和貴, 福田 晃, 荒木啓二郎 (奈良先端大)

(6) 並列化コンパイラ TINPAR におけるスカラー変数処理

後藤慎也, 前山浩二 (京大), 三吉郁夫 (富士通), 窪田昌史, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

(7) 同期ビットを利用する細粒度並列コードの生成

稲垣達氏, 松本 尚, 平木 敬 (東大)

[13 : 30 ~ 15 : 30] ● PRO-3 : 並列オブジェクト指向言語実装 (B 会場)

(8) 並列オブジェクト指向言語 OCore における共同体の拡張

小中裕喜, 友清孝志, 前田宗則, 石川 裕, 堀 敦史, Jorg Nolte (RWC)

(9) 並列オブジェクト指向言語 ABCL/f のメタレベルアーキテクチャ

増原英彦, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)

(10) 並列言語のスケジューリング付き部分計算

細谷晴夫, 米澤明憲 (東大)

(11) オブジェクト並列永続プログラミング言語 MAPPLE とその性能評価

小野 剛, 今崎憲児, 牧之内顕文 (九大)

[15 : 45 ~ 17 : 45] ● PRO-4 : 並列論理プログラミング言語 (B 会場)

(12) OR 並列 Prolog 処理系のための分散管理方式による負荷分散機構の AP1000 上での実現

川畑 徹, 内垣雄一郎 (神戸大), 松田秀雄 (阪大), 金田悠紀夫 (神戸大)

(13) 投機的実行を応用したインタラクティブ並列プログラム

館村純一 (東大)

(14) 並列論理型言語 KL1 処理系のための通信高速化手法

伊川雅彦, 大野和彦, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

(15) Sushi におけるアノテーションプログラミング

菅野博靖 (富士通研)

8 月 25 日 (金)

[8 : 45 ~ 10 : 45] ● PRO-5 : 分散・協調・永続オブジェクトシステム (B 会場)

(16) オブジェクト指向分散環境 OZ++ の実現

西岡利博 (三菱総研), 濱崎陽一 (電総研), 中川 祐 (富士ゼロックス情報システム), 塚本享治 (電総研)

(17) オブジェクト指向分散環境 OZ++ のプログラミングパラダイム

音川英之 (シャープ), 西岡利博 (三菱総研), 濱崎陽一 (電総研)

首藤清法 (システム 21), 中川 祐 (富士ゼロックス情報システム), 塚本享治 (電総研)

(18) メモリマップに基づく永続オブジェクト管理のためのトランザクション機構

- 原 政博, 山本耕平, 上原敬太郎, 宮澤 元, 猪原茂和, 益田隆司 (東大)
 (19)メタレベル計算を用いた, 協調処理の実現 山崎賢治, 楯崎修二, 牛島和夫 (九大)
 [11:00~13:00] ●PRO-6:次世代の並行・分散プログラミング言語 (B会場)
 (20)分散環境下におけるマルチエージェントシステム記述用言語
 浦田泰裕, 齋田明生 (神戸大), 川村尚生 (鳥取大), 田村直之, 金田悠紀夫 (神戸大)
 (21)Nepi: a network programming language based on the pi-calculus 堀田英一, 真野 健 (NTT)
 (22)マルチスレッド化目的のコードを生成する LOTOS コンパイラの評価
 安本慶一 (滋賀大), 東野輝夫, 谷口健一 (阪大), 松浦敏雄 (大阪市大)
 (23)識別子の表す意味の合成演算を許すプログラミング言語に関する一考察 小林弘明, 岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)

~~~~~

\*\*\* 研究発表会 論文募集 \*\*\*

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

日 程 平成7年10月18日(水)  
 会 場 京都国際交流会館(京都)  
 議 題 一般  
 発表申込締切 平成7年8月3日(木)  
 発表申込方法 研究発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名, 略称所属, 概要(46字以内), 発表申込者連絡先(住所, 氏名, Tel., Fax., e-mail)をご記入のうえ, 下記照会先宛, e-mail または Fax. で直接お申込みください。なお, できるだけ e-mail でお願いします。  
 照 会 先 佐藤三久(電総研) e-mail:hpc-kanji@etl.go.jp Fax.(0298)58-5882 Tel.(0298)58-5135

◆計算機アーキテクチャ研究会

日 程 平成7年10月19日(木)  
 会 場 三菱電機 情報システム研究所(鎌倉)  
 議 題 プロセッサ・アーキテクチャ, および一般  
 発表申込締切 平成7年8月3日(木)  
 発表申込方法 \*上記ハイパフォーマンスコンピューティング研究会と同方法(概要は50字程度)。  
 照 会 先 中島 浩(京大) e-mail:nakasima@kuis.kyoto-u.ac.jp Fax.(075)753-5379 Tel.(075)753-5383(直通)

◆設計自動化研究会

日 程 平成7年10月19日(木)・20日(金)  
 会 場 奈良先端科学技術大学院大学  
 テ ー マ 設計とテストおよび一般  
 発表申込締切 平成7年8月3日(木)  
 発表申込方法 \*上記計算機アーキテクチャ研究会と同方法。  
 照 会 先 小野寺秀俊(京大) Tel.(075)753-5314 Fax.(075)751-1576 e-mail:onodera@kuee.kyoto-u.ac.jp  
 \*電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会およびフォールトトレラントシステム研究会)と共催。

◆音声言語情報処理研究会

日 程 平成7年10月20日(金)  
 会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)  
 発表申込締切 平成7年7月31日(月)  
 発表申込方法 \*上記ハイパフォーマンスコンピューティング研究会と同方法(概要は100字程度)。  
 (原稿1件当り8頁以内, 1頁目から本文でも可。)  
 照 会 先 小林 豊(京都工繊大) Tel.(075)724-7473 Fax.(075)724-7400 e-mail:koba@dj.kit.ac.jp

## 研究発表会 開催予定変更のお知らせ

## ◆人文科学とコンピュータ研究会

第27回研究会 平成7年8月 於上越教育大 → 平成7年9月15日(金)\*祝日 於上越教育大

## ◆コンピュータビジョン研究会

第96回研究会 平成7年9月21日(木) 於電総研 → 平成7年9月28日(木) 於電総研

## ◆数理モデル化と問題解決研究会

第3回研究会 平成7年9月21日(水) 於名工大 → 平成7年9月20日(水) 於名工大

~~~~~

◆分散システム運用技術研究グループ

第8回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日 程 平成7年9月26日(火)

会 場 会津大学 大講義室(福島県会津若松市一箕町鶴賀)

*なお、本研究会に引き続き同大学で MmNet '95, Sept. 27-29 (情報処理学会後援)が開催されます。

発表申込締切 平成7年8月25日(金)

発表申込/照会先 岩原正吉(金沢大) e-mail: iwahara@magstar.cc.t.kanazawa-u.ac.jp Tel./Fax.(0762)34-4847



「ドメイン分析/モデリング」研究グループ終了にあたって

(主査：伊藤 潔，幹事：伊藤光恭，杵嶋修三，佐伯元司)

システム開発，インテグレーション，リエンジニアリングなどの基幹となる技術として，ドメイン分析/モデリングの重要性が近年認識されている。これは，複雑で大規模な実際のシステム開発における生産性の向上と再利用の促進のために，対象システム自身が本来もっている各種の性質や開発上の多様な知識を認識して組織化し，共通の対象領域に属するシステムの開発に有効で固有な概念構造を得ようとするプロセスである。この概念構造をドメインモデルと呼ぶ。このドメインモデルを基礎とした開発方法論，開発手法，ツール，再利用部品群などを提示しようとするものである。

本研究グループは，4大学，14メーカ，2研究所のシステム研究開発者が主要なメンバとなり，システム研究開発上の種々の問題点と解決についての交流と討論を行った。計9回のオープンな研究会を開催した。第8回までは毎回30数名の参加があり，第9回のソフトウェア工学研究会との合同の研究発表会では70名の参加があった。十分に個々のドメインの性質や特有な開発方法論について参加者の間で認識し議論できた。ドメイン分析/モデリングの現状，業務モデル，データベース表現項目，オブジェクト指向モデル，実世界モデル，仕様判定支援エキスパートシステム，知識型設計，計画型エキスパートシステム，金融ディーリング支援エキスパートシステム，プログラム理解支援ツール，移動体通信システム，生産管理，新聞発送管理，ネットワーク管理，建築物設計支援，現金自動支払機ソフトウェア，形状処理エンジン，マッピングシステム，ソフトウェア開発プロジェクト管理，原価見積システム，通信ボード組み込みソフト，アーキテクチャの性能設計，組込型ソフトウェア，計測制御リアクティブシステム，鉄鋼制御ソフト，分散形計測制御システム，等の発表があった。

以上の活動により，日本でのドメイン分析・モデリング研究の主要なグループを構成することができた。

第51回全国大会（平成7年後期）概要について

- 開催期日 平成7年9月20日（水）～22日（金）
 会場 富山大学人文学部（富山市五福3190）
 参加費 電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。（賛助会員は正会員に準じます。）
 会員 2,000円 非会員 4,000円 学生 無料
- 論文集・参加予約 8月11日（金）締切り（12日以降は定価扱いになります。）
 分冊 予約価各4,000円（定価各6,000円）
 セット（6分冊一揃、講演者索引・カバー付）予約価24,000円（定価36,000円）
 （送料）大会後の発送希望者のみ
 4冊以下 全国一律 800円
 5冊およびセット 北海道・九州 1,400円 東京23区 800円
 関東・甲信越・南東北（山形、宮城、福島）・東海・北陸・岐阜・東近畿（滋賀、三重） 1,000円
 北東北（青森、秋田、岩手）・西近畿（京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫）・中国・四国 1,200円
- プログラム プログラムの詳細は8月号に掲載されます。
- 招待講演1 （9月20日 13：00～14：30）
 越中売薬と情報 植村元覚（富山大名誉教授）
- 招待講演2 （9月21日 12：30～14：00）
 情報通信新技術の動向を探る（仮題） 葉原耕平（ATR）
- パネル討論 （9月22日 12：30～14：45）
 SEは何を学ぶべきか、何を学ぶべきでないか（仮題）（司会）市川照久（三菱）
 パネラー 中森真理雄（農工大）、魚田勝臣（専修大）
 芳賀正憲（新日鉄情報システム）、橋山真人（花王）他未定
- 公開パネル討論 （9月21日 14：15～17：00）
 地域とインターネット ―新しい社会を拓く風を地方から―（司会）北野孝一（インテック）
 パネラー 会津 泉（ハイパーネットワーク社会研究所）、青山 幹雄（新潟工大）、
 発田 悦造（富山県総合情報センター）、山西 潤一（富山大）
- 一般セッション（論文発表申込925件）
- 懇親会 9月20日（水）18：00～（富山第一ホテル） 会費4,000円（学生2,000円）
- 宿泊・交通案内 下記業者に直接お申込みください。
- 日本交通公社 団体旅行新宿支店 市場開発チーム 担当：清野・奥山
 〒160 東京都新宿区西新宿1-18-8 新宿スカイビル4F
 Tel.(03)3346-0161 Fax.(03)3346-8248
- 日本旅行 新橋団体旅行・海外旅行支店 担当：吉田・秦
 〒105 東京都港区新橋3-7-9 川辺ビル3F Tel.(03)3581-1588 Fax.(03)3581-7505
- 富山地铁トラベル 担当：大西・大源
 〒930 富山市桜町1-1-1 Tel.(0764)42-8181 Fax.(0764)42-8180
- 山下記念研究賞・奨励賞の表彰 平成7年度山下記念研究賞および第50回全国大会奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

第52回全国大会（平成8年前期）の開催について

平成8年春の第52回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は9月号会告に掲載されますのでご確認ください。

- 日程 平成8年3月6日（水）～8日（金）
 会場 電気通信大学（調布市調布ヶ丘1-5-1）

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・コードNo.は開催のお知らせに記載してあります。
- ・参加費には資料代が含まれています。
- ・資料代には送料が含まれています。
- ・3日前までに連絡なき欠席の場合、参加費の返金はいたしません。
- ・下記A：(2)は主催研究会登録会員のみ該当します。

申込者 (該当を○してください)				
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名	
D：勤務先			E：ご所属	
F：ご住所	〒			
G：Tel.			H：Fax.	
I：e-mail				

送付先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと

J：

申込行事	
K：コードNo.	
L：参加費	円
M：懇親会費	円
N-1：資料のみ	円
N-2：資料のみ	冊

アンケート (宿泊付の部屋割りの参考にします)	
O：性別	(1)女性 (2)男性
P：たばこ	(1)すう (2)すわない
Q：年齢	(1)20代 (2)30代 (3)40代 (4)50代以上
R：通信欄	

S：支払方法 (該当を○してください)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *		
	(2) 三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *		
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *		
	(4) 当日持参		
	(5) 現金書留		
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと			
T：送金名義人			
U-1：請求書	通	U-2：見積書	通
U-3：納品書		通	
V：請求書記載名義			
W：送金に関する問合せ先			

申込先 (社)情報処理学会 研究会/事業係
 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)
 e-mail:jigy@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)

*e-mailでの申込み：各項目はカンマ(,)で区切り、(1) ... (5)は選択、その他は文字を記入のこと。
 [例] A: (1), B: 9999999, C: 情報太郎, ... S: (1) (1月30日送金予定), T: 情報太郎, U-1:1, U-2:1, U-3:1,
 V: (株) × × 電気, ...

行事No. RS95

情報処理学会「連続セミナー95」
 “集中から分散へ” “マスからパーソナルへ”
 参加者募集

現在、標記セミナーの第3回～第6回までの参加者を下記のとおり募集しております。奮ってご応募願います。

記

会場	工学院大学 3F 312 教室 (東京都新宿区西新宿)		
締切	定員 (250 名, 学生は 20 名) になり次第締め切ります。		
資料	当日配布		
参加費	1 開催分：正・賛助会員	18,000 円	非会員 25,000 円 学生 2,500 円
	2 開催分：正・賛助会員	36,000 円	非会員 50,000 円 学生 5,000 円
	3 開催分：正・賛助会員	54,000 円	非会員 75,000 円 学生 7,500 円
	第3回～第6回分：正・賛助会員	60,000 円	非会員 80,000 円 学生 10,000 円
申込方法	本会告掲載の「行事申込書」を使い、郵便、Fax、e-mail でお申し込みください。		

[第3回] 平成7年9月26日(火) 「エージェントシステムとその高度化」(9月14日から変更)

- ・セッション1 [10:00～11:15]
エージェント通信と協調プロトコル 石田 亨 (京大)
- ・セッション2 [11:30～12:45]
ソフトウェアエージェント 西田豊明 (奈良先端大)
- ・セッション3 [14:00～15:15]
人間とエージェントとのインタラクション 竹内彰一 (ソニー CSL)
- ・パネルディスカッション [15:30～17:30]
「新しいネットワーク応用の可能性」
コーディネータ：石田 亨 (京大)
パネリスト：竹内彰一 (ソニー CSL), 西田豊明 (奈良先端大),
服部文夫 (NTT), 飯田一郎 (富士通研)

[第4回] 平成7年11月29日(水) 「エンタテインメントのための画像制作技術」(11月17日から変更)

コーディネータ：大野義夫 (慶大)

[第5回] 平成8年1月19日(金) 「ネットワーク・コンピューティング (仮題)」

コーディネータ：松田晃一 (NTT)

[第6回] 平成8年3月22日(金) 「生命科学とコンピュータ (仮題)」

コーディネータ：松尾和洋 (富士通)

*セッションの詳細等は、確定次第会告いたします。

*内容および日程、日時が多少変更される場合がございます。ご了承願います

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '95」論文募集 —インターネットとデータベース—

インターネットなどに代表されるグローバルな情報ネットワーク時代を迎えて、この情報ネットワーク上で情報提供、情報検索、情報探索などを効果的・効率的に行えるための新しいデータベース技術が望まれています。分散型ハイパーテキストシステム World Wide Web (WWW) が爆発的に普及するとともに、そのバックエンドのエンジンとしてのデータベースの重要性がさらに増しつつあるとともに、ハイパーテキストとデータベースの両者を融合したハイパーテキストデータベースや、ネットワーク上に分散した文書ファイル資源などに対してデータベース機能を提供するような新しいデータベース技術も生まれつつあります。また、WWW の 3 次元版である VRML (Virtual Reality Modeling Language) も普及の兆しを見せており、これはオブジェクト指向技術をベースにしたものが多数提案されています。本年のアドバンスト・データベースシステム・シンポジウム (ADBS '95) では、「インターネットとデータベース」を特集テーマとして取り上げ、広く、インターネット時代のデータベース技術、情報検索技術などに焦点をあてて論文を募集します。WWW と DBMS のインタフェース、ハイパーテキストデータモデル、構造化文書処理とデータベース (SGML 文書データベースや CALS 関連)、協調作業のためのデータベース、分散ファイルの情報検索、ネットワーク上でのマルチメディア情報の表現と検索など、関連する広範な分野からの論文投稿を期待します。

日 程 平成 7 年 12 月 5 日 (火) ~ 7 日 (木)
会 場 工学院大学 3F 312 教室 (新宿区西新宿)
主 催 情報処理学会 データベースシステム研究会

論文募集要項

トピック 特に上記主題に関するトピック、およびアドバンスト・データベースシステムの構築・管理・運用全般に関するトピック。

- 応募方法 (1) 応募論文は和文または英文とし、応募時に Extended Abstract (図表・参考文献を含む) を提出する。論文長は、ワープロ A4 判で 4 ~ 8 ページ程度 (和文 6,000 字, 英文 1,600 語を目安) とする。
- (2) 応募論文 (Extended Abstract) は情報処理学会データベースシステム研究会が査読し採否を決定する。採録された場合、最終論文は論文長刷り上がり 10 ページ (和文約 19,000 字, 英文約 5,000 語) を上限とし、会議録に収録されるとともに、シンポジウムで口頭発表する。
- (3) 応募論文 (Extended Abstract) は、そのコピー 3 部を下記に郵送または持参する。
(社) 情報処理学会 アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

スケジュール (1) 論文 (Extended Abstract) 応募締切: 平成 7 年 9 月 8 日 (金) 必着
(2) 採否通知 : 平成 7 年 10 月 2 日 (月) までに通知
(3) カメラレディ最終論文提出締切 : 平成 7 年 11 月 2 日 (木) 必着

参加費 (予定) 研究会登録会員 20,000 円, 会員 25,000 円, 非会員 30,000 円, 学生 5,000 円

照会先 田中克己 (神戸大) Tel.(078)803-1211 Fax.(078)803-1217
e-mail:tanaka@in4wolf.in.kobe-u.ac.jp
石川 博 (富士通研) Tel.(044)754-2681 Fax.(044)754-2570
e-mail:hiro@flab.fujitsu.co.jp

本シンポジウムでは応募論文の発表のほかに、基調講演、招待講演、サーベイセッションなどを予定しています。なお従来、あわせて開催されていた講習会は本シンポジウムのなかに含めて行う予定です。シンポジウムのプログラムや参加申し込みなどにつきましては、今後お知らせいたします。

「1996年情報学シンポジウム」論文募集 ーネットワーク環境下での情報・知識の共有ー

社会における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ、情報、知識に関する基本的問題とその対処について論議し、あわせて研究者、開発者、および利用者が情報・知識の利用に関するアイデアや経験を交換し、交流をはかる場を提供する。本シンポジウムは1984年以来毎年開催されている。

日 時 平成8年1月17日(水)～18日(木) 9:30～17:00

会 場 日本学術会議講堂 〒106 東京都港区六本木7-22-34 (地下鉄千代田線乃木坂駅)

共同主催(予定) 日本学術会議 情報学研究連絡委員会
情報工学研究連絡委員会,
情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会,
日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会

後 援(予定) 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会,
電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会,
日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話,
日本動物学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会

論文募集要項

トピック インターネットをはじめとしたコンピュータネットワーク網が急速に整備されつつある今日、情報・知識の共有をネットワークを抜きにして論じることにはできない。そこで今回のシンポジウムでは、ネットワーク環境下における情報・知識の共有に係わるトピックを、人文・社会科学的アプローチあるいは理工学・技術的アプローチの面から取上げた論文を募集する。中心となるトピックは以下のものであるが、内容がシンポジウムのタイトルで示された分野に属するものであれば、下記以外のトピックでも良い。

- (1) ネットワーク利用技術, 情報処理・提供の技術, 新しい情報の共有の可能性, 情報・知識の共有支援技術
- (2) 政治・経済, 文化・教育, 社会環境, マスメディアにおける情報発信や情報・知識の共有に係わる仕組み, システム
- (3) 情報倫理, 知的所有権, プライバシー, 機密保持, 情報操作など, 情報・知識の共有に伴う課題と対処方法

応募方法 ワープロでA4用紙4～10枚の論文と題目, 氏名(発表者に○印を記入), 連絡先, 職名を明記した別紙を各2部下記に郵送または持参する。

(社)情報処理学会 情報学シンポジウム係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

スケジュール 論文応募締切 平成7年9月4日(月)必着
採否通知 査読審査後, 平成7年10月16日(月)までに発送。
最終論文提出締切 平成7年11月30日(木)

参加費(予定) 資料代として 共同主催学協会員: 8,000円, 学生: 3,000円, 一般: 12,000円

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名		
D: 勤務先			E: ご所属		
F: ご住所	〒				
G: TEL			H: FAX		
I: e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと

J: 照会先/送本先

「書籍」リスト			
書籍名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a):	K-1-(b):	K-1-(c):	K-1-(d):
K-2-(a):	K-2-(b):	K-2-(c):	K-2-(d):
K-3-(a):	K-3-(b):	K-3-(c):	K-3-(d):
K-4-(a):	K-4-(b):	K-4-(c):	K-4-(d):
K-5-(a):	K-5-(b):	K-5-(c):	K-5-(d):
合 計	L-1:	L-2:	L-3:

M: 支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 現金持参
	(5) 現金書留
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合、記入のこと	

N: 送金名義人

O-1: 請求書 通 O-2: 見積書 通 O-3: 納品書 通

P: 請求書記載名義

Q: 送金に関する問合せ先

申込先 (社)情報処理学会 図書係
〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:tosho@ipsj.or.jp

*e-mailでの申込み: 各項目はカンマ(,)で区切り, (1) ... (5)は選択, その他は文字を記入のこと。
【例】 A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, . . . K-1-(a): 情報処理Vol.36 No.1, K-1-(b): 1, K-1-(c): 1600, K-1-(d): 1600,
M: (1) (1月30日送金予定), N: 情報太郎, O-1: 1, O-2: 1, O-3: 1, P: (株) × × 電気, . . .

書籍

「短期高等教育における情報処理教育の実態に関する 調査研究報告書」(平成6年度版)頒布のお知らせ

本学会では、平成6年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、短大並びに高専における情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

- | | | |
|------|---|---|
| 目次概要 | I 高等専門学校における情報処理教育
2. 高等専門学校の情報処理教育の在り方
3. 高等専門学校の情報処理教育カリキュラム
4. カリキュラム実施にあたっての課題 | II 短期大学における情報処理教育
6. 短大における情報処理教育の問題点
7. 一般情報処理教育
8. 経営情報系における情報処理教育
9. モデル・カリキュラムの提案 |
|------|---|---|

本報告書を下記によりお分けいたします。

ご希望の方は情報処理学会「書籍」申込書(学会誌奇数月号添付)にてお申し込みください。

頒布価格：2,000円(送料、消費税込)

書籍名(略称)：短期-H6

雑 報

○第4回 大川賞候補者募集

大川賞は、情報・通信分野の研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方の功績を讃えるものです。推薦締切は7月31日です。詳細は下記に問合せ下さい。

問合せ先 〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル27F(株)CSK内(財)大川情報通信基金
Tel.(03)3344-1451 Fax.(03)3344-1640

○第11回 日刊工業新聞技術・科学図書文化賞の応募案内

対象は、平成6年8月1日～平成7年7月31日までに国内で初版が刊行された工業技術および自然科学に関する日本人の著作。締切は7月31日です。詳細は下記に問合せ下さい。

問合せ先 〒102 東京都千代田区九段北1-8-10 日刊工業新聞社編集局図書文化賞係 Tel.(03)3222-7072,7229

○「テレポート'96東京」会議(96年5月13～16日)研究発表者募集

「新情報社会の到来」をテーマとした研究発表を募集しています。個人、グループを問いません。締切は9月18日です。詳細は下記に問合せ下さい。

問合せ先 〒163-01 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都企画審議室調査部内「テレポート'96東京」開催委員会事務局
e-mail:Teleport'96@tokyo-teleport.co.jp Tel.(03)5388-2170

○C & C 振興財団「国際会議論文発表者助成候補者募集」

海外での国際会議において、半導体デバイス、情報処理、電気通信等の技術分野の論文発表をする研究者に会議出席のための費用を9～25万円の範囲で補助します。詳細は下記に問合せ下さい。

応募資格 国内の大学、国立またはこれに準ずる研究所に在籍する研究者(原則として40才以下)で、経済的必要度が高く、かつ所定の時期迄に論文採用が決定している方。

募集締切 平成7年度後期分は8月25日、平成8年度前期分は平成8年2月23日です。

問合せ先 〒108-01 東京都港区芝5-7-1 (財)C & C 振興財団 Tel.(03)3457-7711 Fax.(03)3798-6599

テクニカルノートに投稿される方へ

論文誌編集委員会

平成6年6月1日からショートノートをテクニカルノートに変更しました。また、平成7年7月1日からページ数に上限を設定しました。

テクニカルノートと、従来のショートノートおよび論文との主な相違点は以下の通りです。

(1) テクニカルノートにはページ数の上限があります。

標準2ページ、上限4ページです。事務局が原稿を受理した段階で4ページ超過と判定されると直ちに不採録となります。

(2) テクニカルノートと通常の論文とは、査読プロセスが違います。

テクニカルノートの査読結果は、採録か不採録だけで、照会はありません。これは速報性を重んじるという趣旨に沿う処置です。

(3) テクニカルノートと通常の論文とは、採録・不採録の判定基準が若干異なります。

テクニカルノートは、研究成果の速報または技術上の新しい提案など「速報性を重んじる、短い論文」ですので、多少形式が整っていないくても掲載の機会を与える方向で判定しております。



学会への様々な申込方法

・入会	: 学会誌巻末（奇数号）掲載の「入会申込書」および入会金および会費を会員係宛送付
・会員の連絡変更	: 学会誌巻末（偶数号）掲載の「変更連絡届」を会員係宛送付
・研究会への新規登録	: 会告（2,4月号）掲載の「研究会登録申込書」を研究会係宛送付
・研究会への発表申込	: 締切日の指定のあるもの以外は、会告（2,4,8月号）掲載の「研究会発表申込書」を開催日の90日前までに研究会係宛送付
・シンポジウム等への参加	: 発表: 「論文募集」の会告を参照し、研究会係宛申込み : 参加: 会告左肩上にコードNo.が付いているものは会告（毎月）掲載の「行事申込書」を研究会係宛送付
・全国大会への申込	: 発表: 会告（年2回）掲載の「全国大会実施要領」を参照のうえ、申込み : 参加: 会告（年2回）掲載の「全国大会予約案内」を参照のうえ、申込み 申込みはいずれも事業係
・図書の購入	: 会告（奇数号）掲載の「書籍申込書」を会告記載の担当係宛送付
・有料会告の掲載	: 会告（36-6）掲載の「有料会告について」を参照のうえ、各係宛申込み
・教官募集の掲載	: 会告（36-6）掲載の「有料会告について」を参照のうえ、編集係宛申込み
・会員の広場への投稿	: 500字以内を会告（毎月）掲載の「ご意見をお寄せください!」に記入のうえ、編集係宛送付
・書評・ニュース記事の投稿	: 会告（随時）掲載の「書評・ニュース募集」を参照のうえ、編集係宛送付
・学会誌本文記事の投稿	: 会告（36-6）掲載の「機関誌原稿執筆案内」を参照のうえ、編集係宛送付
・論文誌への投稿	: 会告（36-6）掲載の「機関誌原稿執筆案内」を参照のうえ、編集係宛送付
・論文誌の購読	: 会告（3,8,12月号）掲載の「論文誌購読申込書」を会員係宛送付
・海外からの送金方法	: 会告（6,11月号）掲載の「海外からの送金方法について」を参照のうえ、学会宛送付
・自動振込の方法	: 会告（5,11月号）掲載の「会費・購読費の預金口座自動振替をご利用ください」を参照のうえ、会員係宛申込

* その他申込み等は、詳細が記されている会告をご覧になるか、または事務局各係へお問い合わせください。



正会員新入会の特別キャンペーンの実施について

事務局会員係

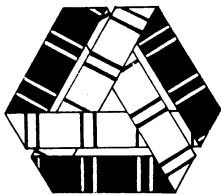
当学会はわが国の情報処理に関する学術・技術の進歩発展、調査研究活動を主旨に、設立以来会員（現在約3万名）、ならびに学界・官界および産業界の支援のもとその発展に貢献しております。しかしながら昨今の景気低迷の影響を受け、ここ数年新入会員数の伸びが鈍化し、会員各位の会費に負うところが多い学会運営に少なからぬ影響を与えつつあります。そこで、21世紀の情報発信者として情報処理分野の指導的役割を果たすとともに、さらなる情報処理の学術・技術の向上を目指し、新しい情報化社会の人材として多くの方々にご入会いただきたく、正会員新入会の特別キャンペーンを実施し入会促進を図ることになりました。キャンペーン期間中は正会員の入会時の入会金（2,000円）が無料となります。

会員の皆様には、すでに多くの方々をご紹介いただきありがとうございます。キャンペーン期間も残りわずかとなりました。是非この機会にお知りあいの方に入会をお勧めくださいますようお願いいたします。

- (1) 対象者 正会員の入会希望者
- (2) 特典 入会金（2,000円） 無料
- (3) 実施期間 平成7年9月20日（水）入会申込書、会費入金必着
*期間以降の入会希望の場合には入会金2,000円をいただきます。
- (4) 申込み方法 申込み手続きは簡単です。「入会申込書」（奇数月号巻末綴じ込み）に所要事項をご記入いただき、事務局会員係宛に送付願います。
また別途会費（9,600円）は各口座（郵便、銀行）等にお振り込みください。
*3月号巻末に「入会のおすすめ」を掲載しておりますので参照願います。
- (5) 送金口座 名義人 社団法人 情報処理学会（各口座とも）
郵便振替 00150-4-83484
第一勧業銀行 虎ノ門支店（普）1013945
三菱銀行 虎ノ門公務部（普）0000608
- (6) 申込み先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
照会先 (社) 情報処理学会 会員係
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

*入会后（2年目）の正会員（除く、一括扱い）会費および購読費の納入には、手続きが簡単な納入方法として、「預金口座自動振替」をおすすめいたします。平成8年度から自動振替納入を希望される方は、入会申込みの際に会員係までお知らせください。

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分、**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。） ○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

【国際会議】

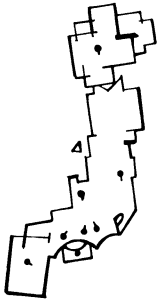
SEARCC '95 Conference & Exhibition（東南アジア地域コンピュータ会議）(007)

1. 1995年9月5日（火）～10日（日） 2. Colombo, Sri Lanka 3. SEARCC '95 Secretariat, Computer Society of Sri Lanka, e-mail:searcc@cssl.ac.lk

IFIP WG5.3 International Conference PROLAMAT'95 Life Cycle Modelling for Innovative Products and Processes

1. 1995年11月29日～12月1日 2. ベルリン,ドイツ 3. 産能大学 松田三知子 Tel.(0463)92-2211
Fax.(0463)93-0554 e-mail:matsuda@mi.sanno.ac.jp

支部だより



情報処理学会地方支部連絡先

北海道支部	〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内 Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp
東北支部	〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内 Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp
東海支部	〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内 Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521
北陸支部	〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内 Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp
関西支部	〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp
中国支部	〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内 Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp
四国支部	〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内 Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp
九州支部	〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル NTT データ通信(株)九州支社総務担当内 Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp

北海道支部 北海道支部大会講演募集一平成7年度電気関係学会北海道支部連合大会一

日程	平成7年10月21日(土), 22日(日)
会場	北海道工業大学(〒006 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1)
特別講演	「企業に於ける研究開発の一側面」 北海道工業大学教授 松田亮一氏
一般講演	講演者:主催学会の会員に限る(当支部所属に限らない)
講演内容	最近行った研究および調査の報告, 新しい企画および工事等の報告, 新製品の紹介など。
講演時間	1件15分(質疑応答を含む)。ただし都合により短縮することがある。
講演予稿	オフセット印刷による。所定の様式に従い, ワープロにて作成すること。図面, 写真を含めてA4サイズ1ページ(A形式約1600字)または2ページ(B形式 約3400字)。講演者には大会の講演論文集を進呈する。別刷は取り扱わない。
申込方法	申し出により講演申込書と原稿作成要領を交付する。
申込先	下記の原稿提出先と同じ。
講演参加費	1件につき, A形式 3500円, B形式 6000円
大会参加費	一般3500円(講演論文集代を含む)。学生無料(講演論文集2000円)なお, 講演参加費を払った者は不要。
原稿提出締切日	平成7年8月28日(月) 午後5時必着(講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること)
原稿提出先	〒060 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報エレクトロニクス系(A)(旧電気工学科)事務室内
照会先	電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局 Tel.(011)706-2969(高井) Fax.(011)737-6812
懇親会	平成7年10月21日(土)18時 場所:テイネオリンピア クラブハウスレストラン「ふきのとう」 会費:正員4,000円, 学生会員2,000円, 当日受付(送迎バスあり)
主催	情報処理学会, 電気学会, 電子情報通信学会, テレビジョン学会, 照明学会各北海道支部

東海支部 平成7年度電気関係学会東海支部連合大会 講演募集案内
原稿提出期限 平成7年8月7日(月)午後5時厳守

(1) 大会の概要

日程	平成7年9月20日(水), 21日(木)
会場	名城大学 (名古屋市天白区塩釜口1-501)
特別講演	日時:9月20日(水)16:00~17:30(名城大学11号館504特別教室) 演題:「将軍吉宗と尾張春宗」(仮題) 徳川美術館学芸部普及課長 小池 富雄氏
シンポジウム:	(依頼)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| (1) 用途指向形電動機の開発状 | 座長 松井 信行 君(名工大) |
| (2) 明日のエネルギー・燃料電池発電 | 座長 上山 仁夫 君(中電) |

－最新技術と将来展望－

- | | |
|--------------------------|------------------|
| (3) 自律ロボット・進化ロボット | 座長 伊藤 宏司 君 (豊技大) |
| (4) プラズマプロセスによる薄膜作製と物性 | 座長 後藤 俊夫 君 (名 大) |
| (5) 情報で結ぶ人と乗り物 | 座長 杉江 昇 君 (名城大) |
| (6) バーチャル・リアリティー基礎と応用の動向 | 座長 鳥脇純一郎 君 (名 大) |

一般講演 (公募)

懇親会 日時 9月20日(水) 18:00～19:30 場所 名城大学第二食堂

(2) 講演申込要領及び一般参加要領

- 一般講演 (1) 講演発表者は原則として主催学会会員に限る。また、講演は一人一件に限る。ただし、複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えない。
- (2) 最近の研究、計画及び工事計画、現場試験、新製品の紹介等で未発表のもの。ただし、内容の類似したものが数件にわたることは認めない。実行委員会でご不適当と認めた論文は、掲載ならびに講演を断ることがある。また、講演論文は、原則として和文とするが、英文も認める。
- (3) 講演時間は1件あたり発表10分プラス質問時間とする。会場にはOHPのみを用意する。他の機器が必要の方は各自ご用意下さい。

講演申込 講演申込書、原稿は名古屋大学工学部電気系学科事務室あて、8月7日(月)午後5時までに必着のこと。ただし、講演原稿は返却しない。なお、プログラム送付(開催日の1週間前頃)以前に講演日等(午前、午後)の別を確認したい方は官製ハガキに宛先、希望発表部門、講演題目を記入のうえ、講演申込書に添えること。

また、講演申込書及び原稿記載要領は名古屋大学工学部電気系学科事務室あてに請求のこと。郵送希望者は、5cm×10cm程度の用紙に宛先を記入し、返信用切手(1件130円、2件190円、3～7件270円、8件以上15件まで390円)を同封する。電話等による請求には応じない。

講演参加費 1件につき2,500円を講演申込と同時に郵便振替(口座番号 00890-1-6584 電気学会東海支部)にて振込むこと。講演者には事前にプログラム・参加章及び論文集引換券を送付し、論文集は当日渡す。ただし、別刷の申込には応じない。

一般参加費 講演者以外の大会参加費は、正員700円、准員300円、会員外1,000円、学生無料。大会当日、受付にてお支払い下さい。

論文集 論文集代金は、2,500円(大会参加費を含みます)。論文集の予約:代金2,500円を添えて8月31日(木)までに下記実行委員会事務局へ申込みこと。事前に引換券を送付し、論文集は当日渡す。郵送希望者は、1冊につき送料510円を加えて送金のこと。発送は大会終了後となる。

(3) 懇親会申込:参加者は、当日大会受付で参加費を添えて申込みこと。

参加費 一般 4,000円 学生 2,000円

(4) 奨励賞:発表当日35才以下の方で特に優秀な論文発表者に贈呈する。

審査希望者は指定の奨励賞審査申込書を講演申込時に添え申込みこと。

なお、電気学会優秀論文発表賞Bも所属学会にかかわらず贈呈する。

講演申込書請求先

〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系学科事務室 Tel.(052)789-3133

講演参加費振込先(振込先は昨年と異なるので、注意のこと)

郵便振替 口座番号 00890-1-6584 加入者名 電気学会東海支部

込票は郵便局にあるものを用い、通信欄に講演者名、所属、講演表題(初めの6文字程度)を記入のこと。振替手数料は、ご負担下さい。

電気関係学会東海支部連合大会実行委員会事務局

〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系学科事務室内

(社)電気学会東海支部 Tel.(052)789-3133 Fax.(052)789-3134

主 催 電気学会・電子情報通信学会・照明学会・テレビジョン学会・日本音響学会・情報処理学会各東海支部

見 学 会

日 時 平成7年8月23日(水)

見 学 先 静岡県マルチメディア情報センター <浜名湖国際頭脳センター内> (静岡県浜松市村岡町 4598-9)

集 合 場 所 地下鉄東山線本郷駅北口 9:20 集合 (時間厳守)

行 程 9:30 出発(貸切りバス) 12:30～13:30 マルチメディア情報センター施設説明
13:30～14:30 マルチメディア施設の自由体験 16:30(予定) 解散(本郷駅) ※希望者は名古屋駅
参加資格 情報処理学会東海支部会員に限る。 参加費 1,200円(昼食代, 当日集めます)
定 員 40名(先着順)
申込方法 ハガキに「浜松見学会申込み」と記入し、(1) 会員番号, (2) 氏名, (3) 勤務先・所属(役職), (4) 連絡
先住所・Tel, Faxを明記のうえ, 下記宛にお申込み下さい。折り返しFaxにて参加証をお送りいたします。
(Faxのない場合は往復ハガキでお申込み下さい。)
申込締切 8月11日(金) 必着
申込み/照会先 情報処理学会東海支部

関西支部 平成7年電気関係学会関西支部連合大会講演募集案内

講演部門 シンポジウムの題目が決定しました。
S1.最近のパワーエレクトロニクスとその動向, S2.電気設備の地震対策, S3.最近の制御理論とその応用,
S4.D S M(Demand Side Management)技術の現状と課題, S5.導電・絶縁材料の諸問題, S6.光で拓く21
世紀, S7.学習と進化, S8.移動体通信のデジタル化にともなう諸問題, S9.パーソナル・コンピュー
ティングの将来, S10.照明評価の新しい動き, S11.有機E L素子開発動向, S12.デジタル放送技術
の動向, S13.音とマルチメディア

中国支部 平成7年度電気・情報関連学会中国支部連合大会開催と一般講演募集のお知らせ

日 時 平成7年11月22日(日) 9:00～17:45
会 場 福山大学工学部 (〒729-02 福山市学園町1番地三蔵 Tel.0849-36-2111)
[一般講演募集要項]
講 演 者 講演者は電気・情報関連学会会員に限ります。ただし連名者には会員外の方を含んでもさしつかえありませ
ん。
講演内容 最近行った研究, 計画および工事報告, 現地試験報告, 新製品紹介など。
講演方法 講演時間は, 1件13分以内(質疑応答3分を含む)。ただし大会進行の都合により変更することがあります。
講演は原則としてOHPを使用して下さい。ただし, スライド, ビデオ(VHSに限る), その他の視聴覚
機器の使用を希望される方は, 講演申込時にお申し出下さい。なお, 都合によりご希望にそえない場合もあ
りますのでご注意下さい。
講演申込と (1) ハガキで, 下記申込み先宛てに「講演申込書」, および「原稿の書き方」を件数明示のうえ請求して原
稿提出下さい。ただし, 同一人による講演は1件に限ります。
(2) 「講演申込書」および「講演原稿」は講演申込料(郵便振替)を添えて下記申込先宛てにお送り下さい。
8月18日(金) 必着
(3) 「講演原稿」はオフセット印刷するため鮮明な原稿として下さい(詳細は原稿の書き方を参照のこと)。
また, 原稿は図面, 表を含み1件1頁または2頁とします。
講演申込料 講演1件1頁の場合2,800円(論文集代金を含む)1件2頁の場合3,500円(論文集代金を含む)
なお, 講演者には事前に論文集1部をお送りいたします。
論文集予約 1部2,800円(送料含む)8月25日(金)までに代金を添えて下記申し込み先宛にお送り下さい。大会
当日での販売部数には限りがありますので, 確実に入手されたい方は予約して下さい。
優秀論文発表者の表彰制度について
電気学会ならびに電子情報通信学会中国支部では, 電気・情報関連学会中国支部連合大会における「優秀論
文発表者」に対する表彰制度を設けております。詳しくは, 平成7年度電気・情報関連学会中国支部連合大
会申込書をご覧ください。
懇 親 会 10月22日(日)特別講演終了後に開催します。(会費 一般4,000円, 学生3,000円)
ハガキで10月13日(金)までに下記申込み先宛にお送り下さい。なお, 会費は当日受付で, お支払い下さい。
会場: 福山大学学生会館ロビー B
交通案内 ○スクールバス 松永駅下車徒歩2分スクールバス乗場, 福山大学まで15分

○タクシー松永駅-福山大学：約 10 分、約 1,200 円
福山駅-福山大学：約 25 分、約 4,000 円
新尾道駅-福山大学：約 20 分、約 3,600 円

宿泊案内 各自、直接お申し込み下さい。福山市内（料金は税、サービス料込みです）
○福山キャッスルホテル Tel.(0849) 25-2111 (シングル 6,600 円～)
○福山ニューキャッスルホテル Tel.(0849) 22-2121 (シングル 9,000 円～)
○福山東武ホテル Tel. (0849) 25-3181 (シングル 7,000 円～)

申込先/照会先 〒739 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部第二類（電気系）内情報処理学会中国支部事務局
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 担当 中村康二

主催 電気・情報関連学会中国支部連合大
(電気学会、電子情報通信学会、照明学会、テレビジョン学会、情報処理学会)

四国支部 平成 7 年度電気関係学会四国支部連合大会（奮ってご投稿下さい）

日程 平成 7 年 11 月 2 日（木）
場所 四国電力（株）総合研修所（高松市屋島西町 1850 の 1）
講演者 講演者は下記の主催学会（6 関係学会）の会員（学生員を含む）に限る。
講演件数 講演は 1 人 1 件に限る。ただし、同一人が数件の応募論文の共著者となることは差し支えない。
講演内容 最近行った下記関係学会に関連のある研究、調査、設計、開発、工事報告、現地試験報告などで学術的価値があるものであること。
論文頁数 図面、写真等を含めて 1 件 1 ページ（論文仕上がりサイズは A 4 判）とする
講演時間 質疑応答時間を含めて 10 分とする。
発表部門 基礎、放電物理、電力、電気機器、パワーエレクトロニクス、照明・電熱、計測、制御、電子回路、計算機、材料、通信、テレビ・画像処理、医用生体工学、情報処理基礎、情報処理応用、その他。
（発表部門は実行委員会にて変更する場合があります。）
使用言語 論文および発表言語は、日本語または英語とする。
大会参加費 講演者以外の大会参加費は 1,000 円。大会当日受付にて現金でお支払い下さい。
論文集代 論文集代金は 3,000 円（大会参加費を含みます。）
講演参加費 講演者の参加費は 2,000 円（大会参加費、別刷 30 部の代金を含みます。）または 3,000 円（大会参加費、別刷 30 部の代金および論文集代金を含みます。）
原稿の書式 A4 判の大きさの白紙に、原則として、ワープロ等により実行委員会指定の様式（上端 30mm、下端 25mm、左右余白各々 18mm を残しておくこと：サンプルを添付します。）で作成して下さい。
申込方法 必要部数を明記し、返信用宛名用紙（縦 10cm × 横 6cm 程度の用紙に返信先を縦書き記入したもの）および返信用切手を添えて下記事務局までお申し込み下さい。返信用切手代として、1 件は 130 円、2～3 件は 190 円、4～10 件は 270 円、11 件～20 件は 390 円、21 件～40 件は 700 円、それ以上は実費になります。
「講演申込書」、「原稿の書き方」、「講演原稿の見本」等一式は、無料で配布します。
論文投稿 「論文原稿」は実行委員会指定の様式で A 4 判用紙に作成し、必要事項を記入した「講演申込書」と共に下記事務局までご投稿下さい。「講演参加費」は、郵便振替により 8 月 21 日（月）までにご送金下さい。
投稿期限 平成 7 年 8 月 21 日（月）必着のこと。
申込先/投稿先 〒760-91 高松市丸の内 2-5 四国電力（株）送変電部内
電気関係学会四国支部連合大会実行委員会事務局
Tel.(0878)21-5061 (ext.3870,3875), Fax.(0878)26-1074
振込先 郵便振替口座番号：01620-2-45134 加入者名：電気関係学会四国支部連合大会
[通信欄に講演題目、講演者名を必ず記入して下さい。]
その他 特別講演、一般講演、懇親会等の詳細は 10 月初頃の大会プログラムによりご案内します。
主催 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・テレビジョン学会・計測自動制御学会各四国支部

教官募集



●徳島大学総合科学部

募集人員 助手1名
所 属 自然システム学科 数理科学大講座
専門分野 情報科学又は情報科学と関連の深い数学
担当科目 プログラミング基礎実習, 全学共通科目 (情報科学)
応募資格 情報処理教育ができること, 修士の学位を有する方, 平成8年4月1日現在で30歳までの方
着任時期 平成8年4月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷 (掲載決定分も含む), これまでの研究の概要 (1000字以内), 採用された場合の研究教育に対する抱負 (1000字以内)
応募締切 平成7年8月31日 (必着)
送付先 〒770 徳島市南常三島町1丁目1番地 徳島大学総合科学部長 吉森章夫
「情報科学教官」と朱書き書留
照会先 徳島大学総合科学部庶務係 Tel.(0886)56-7105

●郵政省通信総合研究所

募集人員 10名程度
研究分野 (1) 情報処理, 画像処理, (2) 移動通信技術, 宇宙技術, (3) 光・技術/計測, (4) 地球環境計測, 太陽地球間物理
応募資格 35歳未満, 採用の時点で博士の学位を有すること (国籍不問)
待遇 国家公務員試験I種採用と同等
着任時期 原則として平成8年4月1日
提出書類 履歴書, 研究経歴書, 論文リスト, 主要論文の別刷
応募締切 平成7年9月8日
送付先/照会先 〒184 小金井市貫井北町4-2-1 郵政省通信総合研究所 企画部企画課長
Tel.(0423)27-7461 (ダイヤルイン)
その他 郵政省通信総合研究所は, 情報通信に関する唯一の国立研究所として, 情報, 通信, 電波, 光, 物性, 宇宙等の分野で先端的な研究を行っています。このたび研究の拡充強化のため, 広く優秀な人材を募集します。通常の公務員試験による採用及び上記以外の個別選考もありますので, 詳細は窓口にお問い合わせください。

●(財)高輝度光科学研究センター放射光研究所

- 募集人員 研究系および技術系職員若干名
 所属部門 (財)高輝度光科学研究センター (JAPAN SYNCHROTRON RADIATION RESEARCH INSTITUTE) 放射光研究所 加速器部門, 実験部門, 情報システム部門
 募集分野 (1)放射光を用いた生物および物質系の研究, (2)放射ビームラインおよび加速器要素機器の開発研究, (3)情報ネットワークシステムの構築およびそれに関連する技術開発
 着任時期 平成7年11月1日以降
 応募資格 研究系は大学院修士課程修了以上, または同等以上の経験を有する方。技術系は大学卒業以上, または同等以上の経験を有する方
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷および研究計画書, 本人に関する推薦書(自薦可。ただし, 自薦の場合は本人について所見を求めうる人2名の氏名と連絡先を明記), 最終学歴の卒業または修了証明書
 応募締切 平成7年9月18日(必着)
 送付先 〒678-12 兵庫県赤穂郡上郡町SPring-8 リング棟 A棟 財団法人 高輝度光科学研究センター 人事課
 照会先 財団法人 高輝度光科学研究センター放射光研究所 加速器部門部門長 熊谷教孝
 Tel.(07915)8-0861 Fax.(07915)8-0870

●豊田工業大学大学院工学研究科

- 募集人員 教授1名(情報援用工学専攻, 博士課程担当)
 専門分野 情報工学, 知能工学, 知識工学またはこれらに関連する分野とし, 教育面では大学院および学部において情報理論, 人工知能, 知的システム論などに関係する講義を担当できること。
 応募資格 (1)研究開発等において優れた業績を有する方, (2)博士(後期)課程において研究指導ができる方, (3)年齢は, 60歳以下の方が望ましい。
 着任時期 平成7年度中
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文5編の別刷(コピーでも可), 研究計画書(今後推進したい研究の概要等)
 応募締切 平成7年9月18日(必着)
 送付先 〒468 名古屋市長天白区久方2-12-1 豊田工業大学 博士課程委員会事務局
 Tel.(052)802-1111 Fax.(052)809-1721
 照会先 副学長 永澤 満 Tel.(052)809-1802(ダイヤルイン)
 事務局 江口孝一 Tel.(052)809-1732(ダイヤルイン)

●山梨大学工学部電子情報工学科

- 募集人員 助教授または講師1名
 専門分野 情報表現形態(モーダル)とその移動に関する研究・教育分野
 画像・映像・言語に関する: インタフェースソフトウェア, マルチメディア通信, コンピュータグラフィックス, 認知工学, ヒューマンインタフェース
 教育: ソフトウェア, ヒューマンインタフェースまたは工学基礎関連科目
 応募資格 関連する博士号(取得, 見込)の方で, 大学院博士後期課程担当可能の方, 年齢35歳未満の方
 着任時期 平成8年4月1日までの決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(各3部)
 応募締切 平成7年9月30日
 送付先 〒400 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部電子情報工学科 人間情報クラス主任 鈴木嘉彦
 照会先 今宮淳美, 鈴木嘉彦 jinji95@yamato.esi.yamanashi.ac.jp

●九州工業大学情報工学部

募集人員 助教授 1 名
所 属 電子情報工学科 (電子情報基礎講座)
専門分野 電気回路 (学部), 信号処理 (学部・大学院) の講義を担当し, 信号処理, ニューラルネット等を専門とする方
応募資格 博士号取得者で大学院での指導が可能な方, 30 ~ 40 歳の方が望ましい
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷り (5 編程度, コピー可), 現在までの研究概要と将来の抱負, 所見を求め得る人 2 名の氏名と連絡先・電話番号
応募締切 平成 7 年 9 月 30 日
送 付 先 〒 820 飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部庶務係
「電子情報工学科教員応募書類」と朱書き書留
照 会 先 電子情報工学科 今村恭己 Tel.(0948)29-7662 Fax.(0948)29-7651
e-mail: imamura@cse.kyutech.ac.jp

●群馬大学工学部情報工学科

募集人員 工学部情報工学科 助教授 2 名, 助手 2 名
専門分野 情報工学の中心的分野
応募締切 平成 7 年 9 月 30 日
照 会 先 群馬大学工学部情報工学科 学科長 清水賢資 Tel.(0277)30-1823
または 五十嵐善英 Tel.(0277)30-1829

●東京農工大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授または講師 1 名
所属講座および分野 電気電子工学講座 (知能アバイス工学分野)
専門分野 回路設計工学, 知能回路工学, 認識工学, 電子システム工学, テクノロジー CAD, などを指向した研究をしてられる方
担当科目 (1) 大学院生の研究指導および関連の講義, (2) 学部学生の論文指導, 関連の講義, 演習および学生実験の指導
応募資格 博士の学位を有し, 40 歳以下が望ましい
着任時期 決定後なるべく早い時期
提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書 (自薦も可), 教育・研究計画書 (1000 字程度), 健康診断書
応募締切 平成 7 年 11 月 30 日
送 付 先 〒 184 小金井市中町 2-24-16 東京農工大学工学部電子情報工学科
照 会 先 電気電子工学講座教官選考委員会 教授 齊藤 忠
Tel.(0423)88-7108 Fax.(0423)85-9055 e-mail:tadashi@cc.tuat.ac.jp

●富山商船高等専門学校情報工学科

募集人員 助手 1 名
専門分野 情報工学
応募資格 (1) 高専の教育と研究に情熱を持つ方, (2) 博士号取得者または取得見込みの方, (3) 採用日において満 30 歳未満の方
着任時期 平成 8 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書 (本人自筆), 研究業績リスト (著書, 論文・国際会議論文, 口答発表などに分類のこと), 主要論文等の別刷, 推薦書
応募締切 平成 7 年 11 月 30 日 (必着)
送 付 先 〒 933-02 新湊市海老江練合 1-2 富山商船高等専門学校庶務課人事係「情報工学科教官応募」と朱書き書留
照 会 先 情報工学科主任 教授 山川進三 Tel.(0766)86-5278 Fax.(0766)86-5110

【国際会議】(つづき)

◆ The 9th International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems

1. 1996年6月4日～7日 2. ACROS 福岡 3. 福岡工業大学工学部 田中卓史 Tel.(092)606-3131(ext.2297)
Fax.(092)606-1342 e-mail:tanaka@fit.ac.jp internet:http://www.fit.ac.jp/ieaie.html 4. 論文締切:1995年11月8日

◆ International Symposium on Parallel Architectures, Algorithms, and Networks

1. 1996年6月12日～6月14日 2. 中国, 北京 3. 北陸先端大 堀口 進 Tel.(0761)51-1265 Fax.(0761)51-1135
e-mail:hori@jaist.ac.jp

◆ 19th International Conference on Research and Development in Information Retrieval(SIGIR'96)

1. 1996年8月18日～8月22日 2. スイス, チューリッヒ 3. NTT 情報通信研究所 木本晴夫 Tel.(0468)59-3387
Fax.(0468)55-1152 e-mail:kimoto@syrix.dq.isl.ntt.jp

◆ 4th International Conference on Soft Computing(IIZUKA'96)

1. 1996年9月30日～10月5日 2. 飯塚市 3. 組織委員会事務局 Tel.(0948)24-2771 Fax.(0948)24-3002
e-mail:iizuka96@flsi.cird.or.jp

【国内会議】

◆ 第57回ロボット利用技術講習会

1. 平成7年7月13日～7月14日(東京), 7月20日～21日(大阪) 2. 電機工業会館(東京都千代田区), 大阪社会福祉
会館(大阪市中央区) 3. (社)日本ロボット工業会 Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404

◆ 講習会「ニュートリノと重力波-実験室と宇宙を結ぶ新しいメディア」

1. 平成7年8月1日～8月3日(東京), 平成7年8月7日～9日(大阪) 2. 野口英世記念会館(東京都新宿区), 千里ラ
イフサイエンスセンター(豊中市) 3. 日本物理学会 Tel.(03)3434-2671

◆ 教育システム情報学会第20回全国大会

1. 平成7年8月4日～8月5日 2. 大阪電気通信大学(寝屋川市) 3. 大阪電気通信大学対馬研内 事務局
Tel.(0720)24-1131(ext.2273,2274) Fax.(0720)25-4587

第29回国際会議のための準備セミナー

1. 平成7年9月23日～24日 2. 海外職業訓練センター(千葉市美浜区) 3. (社)日本工学会 Tel.(03)3475-4621
Fax.(03)3403-1738

◆ システム制御チュートリアル講座「システム同定入門」

1. 平成7年10月3日～10月4日 2. 住友金属工業(株)(北九州市小倉北区) 3. システム制御情報学会
Tel.(075)751-6413 Fax.(075)751-6037

◆ TTC 創設10周年記念電気通信標準化シンポジウム'95

1. 平成7年10月25日 2. 経団連会館(東京都千代田区) 3. (社)電信電話技術委員会 Tel.(03)3432-1551
Fax.(03)3432-1553

◆ 第3回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ

1. 平成7年11月27日(月)～11月29日(水) 2. 温井(ぬくい)スプリングス(広島県山県郡)
3. 日本ソフトウェア科学会(インタラクティブシステムとソフトウェア研究会) 筑波大学電子・情報工学系 田中二郎
Tel.(0298)53-5343 Fax.(0298)53-5206 e-mail:jiro@is.tsukuba.ac.jp 4. 論文締切:8月末日(A4で4ページ程度の日本語ま
たは英語の要約)

◆ 第7回電気通信フロンティア研究国際フォーラム

1. 平成7年11月29日～11月30日 2. 経団連会館(東京都千代田区) 3. (財)テレコム先端技術研究支援センター
Tel.(03)3351-8152 Fax.(03)3351-1591

◆ 第16回計算電気・電子工学シンポジウム

1. 平成7年12月5日～12月6日 2. 東大生産技術研究所(東京都港区) 3. 日本シミュレーション学会
Tel.(03)3239-4711 Fax.(03)3239-4714



第30回人工知能セミナー

[マルチメディア通信時代におけるAI]

マルチメディア通信技術により社会生活はより高度で便利になるものと期待されています。今回のセミナーでは、インフラからアプリケーションまでにわたって、マルチメディア通信時代にAI技術がどのように寄与できるか、マルチメディア通信時代にはどのようなAI技術が望まれるのか、AI技術によってどのようにマルチメディア通信社会が築けるのかについて展望します。また、NTT武蔵野研究開発センタの見学も予定していますのでふるってご参加下さい。

記

◇期 日：1995年9月27日(水) 9:30~17:30

◇場 所：NTT 武蔵野研究開発センタ講堂
〒180 東京都武蔵野市緑町3-9-11 TEL. 0422-59-2726

◇協賛予定：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)精密工学会、
(社)テレビジョン学会、(社)電気学会、(社)日本機械学会、(社)自動車技術会、(社)日本経営工学会

◇プログラム

〈司 会〉	NTTコミュニケーション科学研究所	主幹研究員	飯 田 敏 幸 氏
〈 9:30~10:30〉	NTTのマルチメディア通信に対する取り組み	NTT情報通信研究所 所 長	中 村 直 司 氏
〈10:30~11:30〉	マルチメディア通信時代におけるワークスタイル	慶應義塾大学理工学部 教 授	松 下 温 氏
〈11:30~13:20〉	休憩・見学		
〈13:20~14:20〉	放送サービスのインテリジェント化	NHK放送技術研究所 主任研究員	福 井 一 夫 氏
〈14:20~15:20〉	究極のマルチメディア通信サービスを目指して	ATR音声翻訳通信研究所 社 長	山 崎 泰 弘 氏
〈15:20~15:30〉	休 憩		
〈15:30~16:30〉	マルチメディア通信時代のアミューズメント	株式会社 ナムコ 専務取締役	中 村 繁 一 氏
〈16:30~17:30〉	インターネットは世界をこう変える	慶應義塾大学環境情報学部 助 教 授	村 井 純 氏

◇参 加 費 (テキスト代を含む)：

会 員	18,000円 (賛助会員社および協賛学協会の方々を含みます)
非 会 員	30,000円
学 生	6,000円

◇定 員：150名 (申込受付順)

◇申 込 先：(社)人工知能学会事務局
〒162 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402号室 TEL.03-5261-3401 FAX.03-5261-3402

◇申込方法：所定の申込書(上記の人工知能学会事務局へご請求下さい。)に必要事項を記載の上、事務局まで郵送またはファクス送りにて、お申し込み下さい。折り返し参加証および請求書をお送りしますので、下記の郵便振替口座または銀行口座(同封の振り込み用紙をご利用下さい。)へ参加費をお払い込みください。(尚、その際に第30回セミナー参加費と必ずご記入下さい。)

- 郵便振替口座：00150-6-193586 人工知能学会
- 銀行普通口座：第一勧銀飯田橋支店 1668449 人工知能学会

◇主 催：J S A I (社)人 工 知 能 学 会

《詳細は、上記の人工知能学会事務局へお問い合わせ下さい》